

表2.3.1 隠ぺい配管の位置ボックス及びジョイントボックスの使用区分

取付け位置		配管状況	ボックスの種別
天井スラブ内		(16)の配管5本以下又は(22)の配管3本以下	中形四角コンクリートボックス54 又は八角コンクリートボックス75
		(16)の配管6本又は(22)の配管4本	大形四角コンクリートボックス54 又は八角コンクリートボックス75
天井スラブ以外 (床を含む。)	スイッチ用位置 ボックス	連用スイッチ3個以下	1個用スイッチボックス又は 中形四角アウトレットボックス44
		連用スイッチ6個以下	2個用スイッチボックス又は 中形四角アウトレットボックス44
		連用スイッチ9個以下	3個用スイッチボックス
	照明器具用、 コンセント用位置 ボックス等	(16)の配管5本以下又は(22)の配管3本以下	中形四角アウトレットボックス44
		(16)の配管6本又は(22)の配管4本	大形四角アウトレットボックス44
		(28)の配管2本以下	大形四角アウトレットボックス54

備考 連用スイッチには、連用形のパイロットランプ、接地端子、リモコンスイッチ等を含む。

(イ) 露出配管の位置ボックス及びジョイントボックスの使用区分は、表2.2.3に示すボックス以上のものとする。ただし、丸形露出ボックス（直径89mm）は、直径87mmとする。

(ウ) ケーブル配線に移行する箇所には、ジョイントボックスを設ける。

2.3.8 プルボックス

プルボックスは、2.2.8「プルボックス」による。

2.3.9 通線

通線は、2.2.9「通線」による。

2.3.10 回路種別の表示

回路種別の表示は、2.2.10「回路種別の表示」による。

2.3.11 接地

接地は、第14節「接地」による。

第4節 合成樹脂管配線（硬質ビニル管）

2.4.1 電線

電線は、EM-IE電線等とする。

2.4.2 管の附属品

附属品は、管及び施設場所に適合するものとする。

2.4.3 隠ぺい配管の敷設

- (1) 管の埋込み又は貫通は、建造物の構造及び強度に支障がないように行う。
- (2) 管の切口は、リーマ等を使用して平滑にする。
- (3) 位置ボックス及びジョイントボックスは、造営材等に取り付ける。
なお、点検できない場所に施設してはならない。
- (4) 分岐回路の配管1区間の屈曲箇所は、4箇所以下とし、曲げ角度の合計が270度を超えてはならない。
- (5) 管の曲げ半径（内側半径とする。）は、管内径の6倍以上とし、曲げ角度は90度を超えてはならない。ただし、管の太さが22mm以下の場合で施工上やむを得ない場合は、管内断面が著しく変形せず、管にひび割れが生ずるおそれのない程度まで管の曲げ半径を小さくすることができる。また、管を加熱する場合は、過度にならないようにし、焼けこげを生じないように注意する。